

安全にご使用いただくために

本製品をご使用になる前に、ユーザーズガイドをよくお読みのうえ、正しくお使いください。本書には、誤った取り扱いにより、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防ぐための注意事項に、マークを付けて表示しています。マークの意味は次のとおりです。

	WARNING	死亡や重傷を負う恐れがある内容
	CAUTION	傷害を負う、または物的損害が発生する恐れがある内容
		実行しなければならない（強制）内容
		してはならない（禁止）内容



電源について

電池を使用する場合

- “仕様”で指定している市販の電池を使用してください。
- 電池に記載されている注意表示をよくお読みください。
- 使用するときは、必ず電池カバーを閉めてください。

ACアダプターを使用する場合

- “仕様”で指定しているACアダプターを使用してください。
お住まいの地域で認証されているACアダプターを使用してください。

改造について

- ケースを開けたり、改造を加えたりしないでください。

使用時のご注意

他の電子機器への影響について

本製品は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、本製品と影響する機器との距離を十分にあけて設置してください。電子機器では、本製品も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生する可能性があります。

温度について

長時間の連続使用などで本製品が暖かくなることがあります、手で触ることのできる温度であれば異常ではありません。

接続時のご注意

- 接続プラグをINPUTジャックに差し込むと電源がONになります。
- 他の機器と接続するときは、スピーカーなどの誤動作や破損を防ぐため、すべての機器の電源を切り、音量を下げてください。
- 接続ケーブルは抵抗の入っていないものを使用してください。
- 必ず下記の手順で電源をON/OFFしてください。手順を間違えると、スピーカーなどが誤動作をしたり破損する恐れがあります。
 - ・本製品の電源をONにするときは、アンプの電源を最後に入れてください。
 - ・本製品の電源をOFFにするときは、アンプの電源を最初に切ってください。

電池交換時のご注意

- 付属の電池は動作確認用のため、寿命が短いことがあります。
- 本製品の電源をON/OFFするときは、アンプの音量を下げてください。音量を下げても本製品の電源をON/OFFするときに音が出ることがあります、故障ではありません。
- 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとフットスイッチのイルミネーションが残量レベルに応じて（反時計回りに）消灯します。早めに電池を交換してください。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。電池表記の注意事項を守って正しくお使いください。
- 電池の交換は底面の電池カバーを開けて新品の電池に交換してください。電池の極性（+/-）に注意して正しく装着してください。

保証について

本ユーザーズガイドに従い正しい方法で使用した上で本体が故障した場合、購入後1年以内については無償にて修理または交換させていただきます。

保証を受ける際は、保証書とご購入日を証明するもの（レシートや送り状伝票等）を合わせてご提示ください。ご提示なき場合は保証が受けられないことがあります。また、保証期間内であっても次の場合は有償となります。

- 衝撃や落下による損傷および故障
- 誤った取り扱いによる損傷および故障
- 本体の不当な分解や修理による損傷や故障
- 本体の不適切な保管による変色や損傷および故障
- 地震・火災・水害などの天災による損傷および故障



製品の取扱いについて

- 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えないでください。
- 异物や液体が入らないように注意してください。

使用環境について

- 温度が極端に高いところや低いところでは使用しないでください。
- 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使用しないでください。
- 湿度が極端に高いところや水滴がかかるところでは使用しないでください。
- 振動が大きいところでは使用しないでください。
- 砂やほこりの多いところでは使用しないでください。

ACアダプターの取り扱いについて

- 長期間使用しないときや雷が鳴っているときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

電池の取り扱いについて

- 電池の極性（+/-）を正しく装着してください。
- 指定の電池を使用してください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り外してください。

接続するケーブルや機器について

- ケーブルや機器を接続するときは、各機器の電源スイッチを必ずOFFにしてから接続してください。

音量について

- 大音量で長時間使用しないでください。

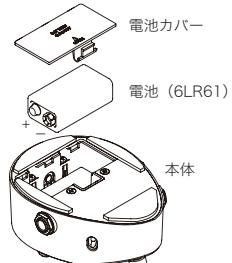
お手入れについて

ケースが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。シリコン等のゴム部品が汚れたときは、糸くずの出ない柔らかい布を湿らせて拭き取ってください。クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障や異常が発生した場合は、すぐに電源を切ってACアダプターおよび電池を取り外し、接続しているすべてのケーブル類や機器を外してください。

「品名」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、お電話番号」をお買い上げの販売店または当社までご連絡ください。



パネル説明

各ノブには「回転」と「長押し（1秒）」の操作があり、それぞれで機能が切り替わります。

GAIN ノブ

GAIN ノブを時計回りに回すと、高ゲインになり歪みも大きくなります。Crunch モードでは低ゲインにするとクリーンなバイパストーンのサウンドに近づきます。

ドライブシフト

ノブを長押しするたびに、モードが切り替わります。イルミネーションの色は以下のように変化します。

Crunch → Overdrive → Distortion → Fuzz

ACCENT ノブ

ACCENT ノブは、ダイナミックレンジの拡張/圧縮を調整します。ノブを時計回りに回すと、ピッキングニュアンスやギターのボリュームコントロールによって、ドライブコントロールの拡張効果を高めることができます。反時計回りに回すと、低ゲインでパーカッシブなノートの圧縮効果が高くなり、高ゲインでサステインが長くなります。

イルミネーション

ノブを長押ししてから回すと、イルミネーションの明るさを調整できます。

OUTPUT ジャック

アンプや他のエフェクターに接続します。

CONTROL ジャック

Memory Footswitch A1-F（別売）に接続することで、A1-F からサウンド設定を呼び出すことができます。接続には A1-F に付属のコントロールケーブルを使用してください。

MEMORY ボタン

お気に入りのサウンド設定を 3 パターン保存できます。各ノブでサウンドを調整してから、SAVE ⇒ M1 ~ M3（いずれかを長押し）で保存します。保存したサウンドを呼び出すには、M1 ~ M3 いずれかのボタンを押すか、Memory Footswitch A1-F（別売）のボタンを押して呼び出します。

※SAVE ボタンを長押し（10秒）しないでください。

工場出荷時設定となり、保存したサウンド設定が消去されます。

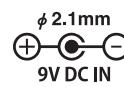
保存するサウンド設定の内容

- ドライブシフトのモード
- ACCENT, GAIN, TONE, LEVEL, 3 バンドイコライザー
- 楽器選択 (Guitar/Bass)

※イルミネーションの LED 位置は目安であり、ノブの正確な位置を示すものではありません。調整はご自身の聴感に基づいて行ってください。

DC IN ジャック

AC アダプターを接続します。

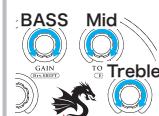


TONE ノブ

TONE ノブを時計回りに回すと、高音域トーンが際立ちます。反時計回りに回すと、高音域がカットされて中音域が強調されます。

3 バンドイコライザー

エフェクトが ON の状態で、ノブを長押しするとイコライザーモードになります。（イルミネーションが白に点灯）Treble, Mid, Bass を調整します。イコライザーモードを終了するには 4 つのノブまたはフットスイッチのいずれかを押します。



Buffered Bypass モードでエフェクトが OFF の状態で、このノブを長押しすると Bypass トーン（3 バンドイコライザー）と ACCENT が調整できます。Bypass トーンは上記と同じ手順で調整します。ACCENT は青く点灯している ACCENT ノブで調整します。

LEVEL ノブ

LEVEL ノブを回すと出力レベルの調整ができます。

楽器選択 (Guitar または Bass)

ノブを長押しして、使用する楽器 (Guitar/Bass) を選択します。バンドアンサンブルなどで低音域が強すぎると感じる場合は、Guitar モードを選択してください。フットスイッチのイルミネーションは Guitar モードでは赤、Bass モードでは青に点灯します。

INPUT ジャック

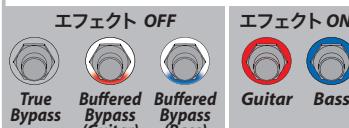
楽器や他のエフェクター (OUTPUT) からのプラグを接続します。接続プラグを差し込むと本体の電源が ON になります（エフェクト OFF 状態でも）、抜くと電源が OFF になります。電池の消耗を防ぐため、使用しないときは接続プラグを抜いてください。

Bypass スイッチ

エフェクト OFF の状態で True Bypass と Buffered Bypass を切り替えます。Buffered Bypass モードでは、豊かでクリアなサウンドを出力します。

フットスイッチ

エフェクトの ON/OFF を切り替えます。イルミネーションは下記のように点灯します。フットスイッチのイルミネーションは電池の残量計も兼ねています。電池が消耗していくとイルミネーションが反時計回りに一つずつ点滅⇒消灯していきます。



チューニングメーター

Buffered Bypass モードでエフェクトを OFF にすると、チューニングメーターが機能します。音程が高い場合はイルミネーションが時計回り、音程が低い場合はイルミネーションが反時計回りに回転します。イルミネーションの回転が止まるまでチューニングしてください。初期設定では Guitar モードに設定されています。Bass のチューニングをするときは LEVEL ノブを長押しして切り替えます。Guitar モードと Bass モードは、フットスイッチのイルミネーションが「白/赤」または「白/青」のどちらで点灯しているかで確認することができます。

仕様

規定入力レベル	-20 dBu *1
入力インピーダンス	500 kΩ
最大出力レベル	+2 dBu *1
出力インピーダンス	約1 kΩ
推奨負荷インピーダンス	10 kΩ以上
電源	ACアダプター 下記仕様のアダプターを使用してください。 定格電圧: 9 V (動作範囲 6 V ~ 14 V) 電流容量: 300 mA以上 端子φ2.1 mm DCジャック・センターマイナス アルカリ電池 (6LR61) 消費電流: 約120 mA 連続駆動時間: 約2時間 *2
本体サイズ	99 (D) x 79 (W) x 37 (H) mm (突起部含まず)
重量	約280 g (電池を含む)
付属品	ユーザーズガイド、動作確認用電池 (6LR61)

*1 : 0 dBu = 0.775 Vrms *2 : 代表値 (工場出荷時設定にて)

工場出荷時設定

工場出荷時の初期設定に戻すには、下記の手順を実施してください。

- エフェクトをONにした状態で、SAVEボタンを10秒以上押し続けます。（すべてのイルミネーションがオレンジ色に点滅します。）
- 点滅が停止する前にSAVE⇒M1⇒M2⇒M3の順でボタンを押します。（10秒以内）

初期設定

楽器設定:	Guitar
ノブ位置:	Center
ドライブモード:	Crunch
M1:	Expadorda (EXP-2000) Overdrive
M2:	Expadorda (EXP-2000R) Distortion
M3:	80's Distortion

BIXONIC

a division of KIKUSUI ELECTRONICS CORP.

〒224-0023 神奈川県横浜市都筑区東山田 1-1-3

<https://bixonic-sounds.com>

